

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	現代の国語
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 1年		
学習目標	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力、深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	<p>【授業】 様々な文章を読んで、ものの見方・考え方に触れ、的確に理解する力を養おう。また、友達と意見を交換することで、表現力や伝え合う力を高めよう。ノートやプリントには必要なこと以外に、自分が重要だと思ったこと、自分が調べたこともまとめておこう。</p> <p>【家庭】 現代文の予習は、教科書を読むことである。知らない言葉を調べる。疑問点を見つけ、授業に備える。</p> <p>【補習・その他】 応用力を養うために、教科書以外に問題集が課題となる。大学入試に対応できるように、1年次から読解力・表現力が身に付くよう努めよう。また、「朝の読書」の時間を利用して、多くの文章に触れて欲しい。読解力は、すべての教科の基礎・基本となる。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 体験と思索Ⅰ</p> <p>(2) 評論Ⅰ</p> <p>(3) 評論Ⅱ</p> <p>(4) 実社会Ⅰ</p> <p>(5) 評論Ⅲ</p> <p>2 2学期</p> <p>(1) 体験と思索Ⅱ</p> <p>(2) 評論Ⅳ</p> <p>(3) 実社会Ⅱ</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 評論Ⅴ</p> <p>(2) 評論Ⅵ</p> <p>(3) 実社会Ⅲ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方や感じ方を理解するとともに、自己の生き方を模索するきっかけを得る。 ・文章の構成や論の展開に注意しながら、論旨を的確に捉える。 ・実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会でも役立つ文章作成力を身に付ける。 ・テーマに対する筆者の姿勢を理解した上で、自らの考えを持ち、それを深める。 ・実用的な文章の意義と読み解き方を習得し、実社会との関わりを実感する。 ・筆者の主張を理解し、それを踏まえた上で、現代的テーマについて自分の意見を持つ。 ・社会に関連する文章を読み解くことで、実社会との関わり方について自分の考えを深める。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。
評価方法	定期考査、授業への取組、課題・提出物、小テストなどを3つの観点に基づき総合的に判断して評価する。		
その他			